

次に、新しい役員の出と、神奈川県支部をどう盛り上げていくか、役員及び校友会員をどう増やしていくか、相談と話し合いをいたしました。役員は次のように決まりました。

支部長 黒澤 大治  
副支部長 本間 道明  
会 計 千葉 敦  
今後、新しい役員とともに、校友会の皆様卒

### 大阪府支部

令和元年9月28日(出)正午から大阪市北区梅田の和食店「桂」にて、大阪府支部令和元年度総会を開催しました。オール日大校友会大阪支部から富浩一郎幹事長、近隣支部から近畿ブロック長でもある立花初代奈良良支部長、妹尾健京都府支部長を来賓として迎え、初参加の校友2名を含む16名の出席で開催。

重森淑美幹事の司会で始まり、校歌斉唱、出席者の自己紹介に続き、議事へ。矢田支部長の議事進行の下、平成30年度活動報告、同年度会計報告が行われ、全会一致で承認されました。次いで、令和元年度活動計画も全会一致で承認され、総会を終了。懇親会に先立ち、米寿を迎えられた岡持慶子さん、喜寿を迎えられた吉岡悦子さんへ花束の贈呈が行われ、その後記念撮影。

懇親会は、矢田支部長の開宴宣言、富幹事長の乾杯で始まり、料理を食しつつ歓談し、親睦を深めました。立花奈良良支部長の閉会挨拶で開きとなりました。この後、時間の都合がつく有志が、近くの喫茶店に移動し、約2時間歓談して散会しました。

G20サミット開催の関係で開催日時の変更もありましたが、無事に終えることができました。令和2年度は、この秋に近畿ブロック総会として開催予定です。多くのご参加をお待ち申し上げます。今回の報告を締めくくりにします。

(文責 矢田 健郎)

令和2年2月29日(出)18時。於松江市サンラポールむらぐも。参加者・坂本宮崎、岩崎、河津4名。議事

一、令和元年度決算報告  
岩崎幸夫大会計幹事  
二、会務報告 坂本育穂  
平成30年度島根県総会、31.3.9、出席3名。  
三、三役会・新年会  
令和1.4.29、坂本出席。  
四、第48回全国定期総会、5.25、坂本出席。  
五、第39回中国ブロック総会、山口県主催、於山口グランドホテル、8.31、川又祐通信教育部長・鈴木勝通信教育部校友会長他17名。  
六、次期中国ブロック長、谷川正徳氏(広島)新任。坂本退任。  
七、令和2年度中国ブロック総会、広島県に決定。  
八、鳥取県支部不参加。  
九、鳥取県支部不参加。  
十、三役会・新年会、令和2.1.18、於日本大学校門会館、坂本出席。  
十一、「日大島根校友会便り」発行、1月号、7月号。三、役員改選 支部長坂本育穂、副支部長宮崎健治、河津和彦(新)、幹事(会計)岩崎幸夫、周藤昇、河野義男、村上謙武、酒井實三。  
四、その他  
十二、大原義隆氏(昭和35.文)ご逝去。令和1.8.27。当支部より香典。  
十三、鳥取県支部5名に島根県総会へのオープン参加を呼びかけ、機能せずとの回答あり不参加。  
十四、副支部長に河津氏を増員。今後の校友会活性化に大なる期待。

### 島根県支部

令和元(2019)年12月7日(出)14時半より山口市「山口県婦人教育文化会館」において支部総会を開催しました。出席は、本部役員として村田義和副幹事長及び支部6名に加えて、今年も岡山の大黒圭子さん出席で、計8名です。

総会開始前に支部長から計報(伊藤泉宗様を告げて黙とうを捧げ、会の進行となりました)。

一、開会挨拶(支部長 二、来賓挨拶(村田氏)

### 山口県支部

令和元(2019)年12月7日(出)14時半より山口市「山口県婦人教育文化会館」において支部総会を開催しました。出席は、本部役員として村田義和副幹事長及び支部6名に加えて、今年も岡山の大黒圭子さん出席で、計8名です。

総会開始前に支部長から計報(伊藤泉宗様を告げて黙とうを捧げ、会の進行となりました)。

一、開会挨拶(支部長 二、来賓挨拶(村田氏)

### 宮崎県支部

宮崎県支部総会は、2020年1月25日(出)16時30分から宮崎観光ホテルにて開催しました。

前年度の活動報告・決算報告・監査報告を認定、令和元年度事業及び予算を承認しました。また、昨年11月沖縄県で開催された九州ブロック総会の総会終了後に、同ホテ

### 徳島県支部

令和元年度徳島県支部本部から支部総会及び支部総会が10月27日(日)、徳島市阿波観光ホテルで開催された。総会には、80代前半、70代後半、70代前半、60代後半、50代後半の5名の校友が出席した。

平成30年度の事業報告、決算報告及び会計監査報告と、令和元年度事業計画及び予算案について、土井支部長から報告があり、審議の結果、原案どおり承認された。

続いて、支部の活性化について話し合われた。会費の納入者が年々減少し、戻すばみの現状であるが、資金面では校友への参加が期待される。

私にとつて奈良は初めての経験だけに、見るも感動に次ぐ感動。しかも日本を代表する重要宝物だけに、歴史の重みを全身で受けつづ体験した。

正倉院展では、今年天皇即位を祈念し、宝庫を代表する宝物が特別に勢揃い、入館も長蛇の列で中に入れない。6扇揃って出陳された鳥毛立女屏風などは、二度と見られないもので圧巻だった。夜の交流懇談会では、東京、三重、広島、奈良から活動の報告があった。昭和42年からの校友会の立ち上げ時の苦労話、支部の運営、支部年会費、総会参加者増強、等々。

2日目は、東大寺の拝観。建築物の威容の凄まじく、大仏の大きいこと、天平時代から国の無事安穩を見守ってきたことを思えば感慨深い。見上げれば首が痛くなるほどであった。この日は外国人の見物者が多いのにびっくり。

一方、なぜこんな建造物が必要だったのか、その由縁は何かは、一番聞きたいところ。説明によれば、新羅との外交関係の悪化、内乱、飢饉、災害、疫病の流行もあり、救済を仏法に求めたことでも、その絶大な権力と国家を思う信念の強さは、なお想像するに私の域を超える。

午後は、『暗夜行路』を完結した志賀直哉旧居での近畿ブロック総会である。本部の鈴木会長も参加され、各府県の紹介の活動報告、大形弘氏のマ

### 奈良・広島支部交流会と正倉院展研修を終えて

意見交換がなされて、事業報告・計画、会計報告・予算案等が承認されました。今回は特に支部の総会参加者や支部会費についての協力、支部役員の見守り等が話し合われて、有意義な支部総会となりました。

総会後、同会場で夕食会が行われ、賑やかな時間を過ごすことができました。次回(令和2年12月第1土曜日)は今回以上の出席を願って再会を約し、18時に散会しました。

(文責 佐伯 和夫)

### 校友だより

澄みわたった秋晴れのなか、令和元年11月9日(出)正午、広島県支部の3人(途中1人合流)は広島駅を出発した。1泊2日の奈良・広島支部交流会と正倉院展研修である。実は昨年「大きく動いて交流を深め、見識を広げよう」と、ブロックを越えた交流を計画した。しかし、昨年広島は豪雨災害で死者が出る大惨事に見舞われたため、見送った。ようやく今回実現した。

日程は、初日が正倉院特別展、仏像記念館と支部交流懇親会。2日目は南都八景めぐり、東大寺の拝観と近畿ブロック総

会への参加である。私にとつて奈良は初めての経験だけに、見るも感動に次ぐ感動。しかも日本を代表する重要宝物だけに、歴史の重みを全身で受けつづ体験した。

正倉院展では、今年天皇即位を祈念し、宝庫を代表する宝物が特別に勢揃い、入館も長蛇の列で中に入れない。6扇揃って出陳された鳥毛立女屏風などは、二度と見られないもので圧巻だった。夜の交流懇談会では、東京、三重、広島、奈良から活動の報告があった。昭和42年からの校友会の立ち上げ時の苦労話、支部の運営、支部年会費、総会参加者増強、等々。

2日目は、東大寺の拝観。建築物の威容の凄まじく、大仏の大きいこと、天平時代から国の無事安穩を見守ってきたことを思えば感慨深い。見上げれば首が痛くなるほどであった。この日は外国人の見物者が多いのにびっくり。

一方、なぜこんな建造物が必要だったのか、その由縁は何かは、一番聞きたいところ。説明によれば、新羅との外交関係の悪化、内乱、飢饉、災害、疫病の流行もあり、救済を仏法に求めたことでも、その絶大な権力と国家を思う信念の強さは、なお想像するに私の域を超える。

午後は、『暗夜行路』を完結した志賀直哉旧居での近畿ブロック総会である。本部の鈴木会長も参加され、各府県の紹介の活動報告、大形弘氏のマ

ジックショー、高取町の植村町長の講演もあり、大変に充実した総会であった。

今回、交流で感じたことは、関西から何でも一つつかみ取って帰ろうと意識の変革があったこと、校友会活動に本気になれたことだと思ふ。今回の経験は、これからの自身の人生に、支部の活動に、おおいに生かしていきたいと誓った。

暖簾  
盛岡市内にある「わんこそば」の店の暖簾。予約の団体客がひっきりなしで、どうとう食べることができなくて残念だった。

香川県支部  
小西長之助

町まぢの文字 (37)